

金融庁委託調査

貸金業利用者に関する調査・研究
<調査結果>

2014年12月

I. 調査概要

I. 調査概要 1 調査設計

調査手法	インターネット調査
抽出母集団	インテージ・ネットモニター
調査地域	全国
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・20～70代の男女 ・本人または家族が以下の職業に従事している場合は対象外 出版・印刷関連、新聞・放送業、マスコミ、広告、市場調査、金融関係（銀行/信託/信金/信組/政府系金融信販/消費者金融/ その他金融/証券、商品取引/ 生命保険/損害保険）
調査期間	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 2014年9月11日(木)～18日(木) <input type="checkbox"/> 本調査 2014年9月22日(月)～29日(月)
調査設計	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査：回収目標サンプル数 最大70,000サンプル <グループ1> 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った50,000サンプル程度 ※母集団準拠については、平成22年度の国勢調査結果にその後の人口動向を加味したものを母集団として使用 <グループ2> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」約20,000サンプル程度 <input type="checkbox"/> 本調査：回収目標サンプル数：5,000サンプル程度 <グループA> 3年以内借入経験者 3,000サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,000サンプル <グループC> 「農林漁業」「専門職」「個人事業主」従事者、「会社員」「派遣・契約社員」500～1000サンプル程度 (※ 上記A、Bに含まれる)
有効回収サンプル数	<input type="checkbox"/> スクリーニング調査 <グループ1> 性別／年代／エリアで母集団準拠を行った、51,241サンプル <グループ2> 「農林漁業」463サンプル、「専門職」311サンプル、「個人事業主」8,109サンプル、 「会社員」6,522サンプル、「派遣・契約社員」1,686サンプル <input type="checkbox"/> 本調査 <グループA> 3年以内借入経験者 2,342サンプル <グループB> 3年以内借入経験者以外 2,010サンプル(うち、借入未経験者 1,802サンプル) <グループC> 「農林漁業」47サンプル、「専門職」25サンプル、「個人事業主」601サンプル、 「会社員」72サンプル、「派遣・契約社員」32サンプル

(注)グループCについては、調査結果の精度を高める観点から、いくつかの属性においてサンプルの補填を行っているもの。

1. 調査概要 2 本調査 有効回収数

本報告書では、基本的に下表「ランダムサンプル」をベースに分析を行っている。
ただし、職業別に分析を行う際にのみ、「ランダムサンプル」に「補填サンプル」を加えたサンプルをベースとしている。

	ランダムサンプル					補填サンプル				
	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内借入 経験者以外	うち、 借入経験あり (3年より前)	うち、 借入経験なし	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内借入 経験者以外	うち、 借入経験あり (3年より前)	うち、 借入経験なし
TOTAL	4352	2342	2010	208	1802	777	736	41	7	34
会社員	1395	904	491	65	426	72	72	0	0	0
経営者・役員	114	77	37	9	28					
個人事業主(自営業、SOHO含む)	342	219	123	22	101	601	601	0	0	0
公務員(教職員含む)	183	109	74	9	65					
専門職(個人事業主は除く)	74	44	30	3	27	25	12	13	2	11
農林漁業	22	11	11	1	10	47	19	28	5	23
派遣・契約社員	277	193	84	15	69	32	32	0	0	0
パート・アルバイト・フリーター	633	363	270	31	239					
専業主婦/主夫	636	161	475	26	449					
無職	501	181	320	24	296					
学生	109	44	65	0	65					
その他	66	36	30	3	27					

I. 調査概要 3 対象者グループの定義補足

- 『3年以内借入経験者』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験がある方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在そのいずれかの借入残高が残っている方

- 『3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり』

最近3年以内に、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれかの利用経験があり、かつ、現在「消費者金融からの借入れ」の借入残高が残っている方

- 『借入経験なし』

過去、「クレジットカード会社のキャッシング・カードローン」、「消費者金融からの借入れ」、「商工ローンからの借入れ」、「手形割引業者からの借入れ」のいずれについても利用経験がない方

I. 調査概要 4 ウェイトバックについて

スクリーニング調査結果より、「3年以内借入経験者」が全体に占める割合は6.6%。この値が全体に占める「3年以内借入経験者」の比率と推計される(表1)。

ただし、今回の本調査設計では「3年以内借入経験者」を約3,000サンプル、「3年以内借入経験者以外」を2,000サンプルとして設計を行ったため、本調査の回収結果は「3年以内借入経験者」が本調査回収サンプル計の半数以上を占め、実際の構成よりも大きな比率を占めている。

よって、セーフティネットの認知など、「3年以内借入経験者」と、「3年以内借入経験者以外」を足した数値をみる際には、3年以内借入経験者の比率を市場構成比にあわせるための補正処理(ウェイトバック)を集計で行っている。

※本報告書においては、ウェイトバックを行った数値を記載している箇所には「**ウェイトバックあり**」と注記を付している。

【表1】スクリーニング/本調査回収結果における、「3年以内借入経験者」の割合

スクリーニング調査回収結果(母集団準拠サンプルのみ)

	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者以外
TOTAL	51241	3369	47872
	100	6.6	93.4

本調査回収結果(補填サンプルを除く)

	TOTAL	3年以内 借入経験者	3年以内 借入経験者以外
TOTAL	4352	2342	2010
	100	53.8	46.2

【表2】ウェイトバック算出方法

	①回収サンプル 数	②SCR回収結果 より、母集団準 拠した際の比率	③回収サンプル 数をSCR回収結 果の比率にあわ せる (①の合計×②)	ウェイトバック値 (③÷①)
合計	4,352	1	4,352	—
3年以内 借入経験者	2,342	0.066	287	0.1226439
3年以内 借入経験者以 外	2,010	0.934	4,065	2.0222726

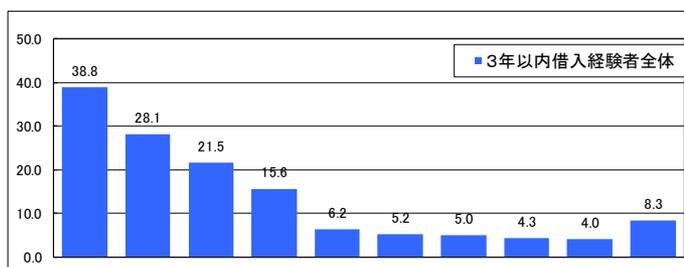
II. 調査結果のまとめ

II. 調査結果のまとめ

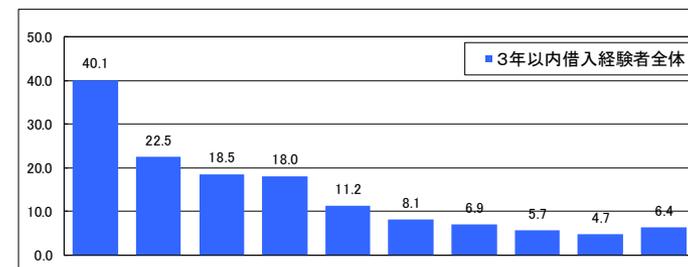
3年以内借入経験者の実態：借入目的

- 3年以内借入経験者のクレジットカード会社のキャッシング・カードローンの利用目的上位3位は、「生活費不足の補填」38.8%、「欲しいものための資金不足の補填」28.1%、「クレジットカードの支払い資金不足の補填」21.5%となっている。
 - ・年収別では、年収が低いほど「生活費不足の補填」への回答率が高くなる傾向が見られる。
 - ・職業別では、3年以内借入経験者全体と比べ『個人事業主』『派遣・契約社員』『パート・アルバイト・フリーター』は「生活費不足の補填」の回答割合が高い。
- 3年以内借入経験者の消費者金融の利用目的上位3位は、「生活費不足の補填」40.1%、「欲しいもの購入への資金不足のため」22.5%、「遊ぶお金が不足のため」18.5%となっている。
 - ・年収別では、年収が低いほど「生活費不足の補填」への回答率が高くなる傾向が見られる。

【図表1】クレジットカードのキャッシング・カードローン利用者の利用目的 (ベース：3年以内借入経験者)



【図表2】消費者金融利用者の利用目的 (ベース：3年以内借入経験者)



利用目的	サンプル数	生活費不足の補填	欲しいものための資金不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	遊ぶための資金不足の補填	冠婚葬祭の支払い	ギャンブルのための元手	医療費の支払い	住宅ローンの不足を補填	返済資金不足を補填	その他
3年以内借入経験者全体	2058	38.8	28.1	21.5	15.6	6.2	5.2	5.0	4.3	4.0	8.3
0円	147	44.9	19.7	25.2	6.8	6.8	4.1	8.2	4.8	8.2	10.2
1~300万円以下	1002	43.2	27.2	21.9	12.6	6.4	4.4	4.2	3.0	3.9	7.7
301~500万円以下	531	36.0	30.7	20.3	18.8	6.6	6.2	5.5	5.5	3.2	8.5
501~1,000万円以下	349	29.8	30.7	20.6	22.6	4.3	6.3	5.4	5.2	3.4	9.2
1,001万円以上	29	17.2	24.1	24.1	24.1	13.8	10.3	3.4	13.8	6.9	6.9
会社員	848	36.6	28.9	22.6	19.9	6.1	6.3	4.5	5.3	3.3	7.9
経営者・役員	88	27.9	38.2	13.2	14.7	2.9	4.4	1.5	4.4	4.4	13.2
個人事業主	735	48.7	26.0	21.5	10.7	5.6	3.7	5.6	4.2	5.3	7.1
公務員	96	26.0	38.5	14.6	19.8	2.1	10.4	5.2	4.2	6.3	6.3
専門職	49	30.6	28.8	20.4	22.4	10.2	6.1	10.2	6.1	8.2	8.2
農林漁業	29	31.0	27.6	10.3	13.8	13.8	3.4	10.3	0.0	3.4	13.8
派遣・契約社員	199	45.2	29.1	22.1	15.6	6.0	4.0	3.0	2.0	7.0	10.1
パート・アルバイト・フリーター	311	46.0	24.8	24.4	13.8	4.5	3.2	5.5	4.2	3.2	9.6
専業主婦/主夫	146	34.9	26.0	22.6	6.8	12.3	2.7	6.2	3.4	1.4	7.5
無職	172	30.2	29.1	19.2	14.0	6.4	7.6	6.4	1.7	3.5	8.7
学生	38	42.1	34.2	13.2	13.2	2.6	5.3	5.3	10.5	7.9	7.9

利用目的	サンプル数	生活費不足の補填	欲しいもの購入への資金不足のため	遊ぶための資金不足の補填	クレジットカードの支払い資金不足の補填	返済資金不足を補填	ギャンブルのための元手	冠婚葬祭の支払い	医療費の支払い	住宅ローンの不足を補填	その他
3年以内借入経験者全体	578	40.1	22.5	18.5	18.0	11.2	8.1	6.9	5.7	4.7	6.4
0円	37	51.4	16.2	10.8	24.3	13.5	2.7	8.1	5.4	13.5	5.4
1~300万円以下	275	46.9	21.8	16.7	17.8	12.7	5.8	6.5	5.8	3.6	5.8
301~500万円以下	177	33.9	24.3	20.3	15.8	9.8	10.7	6.2	5.6	2.8	6.8
501~1,000万円以下	76	27.6	23.7	23.7	19.7	7.9	13.2	7.9	5.3	7.9	7.9
1,001万円以上	13	23.1	23.1	23.1	23.1	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7
会社員	297	37.4	25.6	19.9	19.2	11.4	8.8	6.4	3.4	4.4	5.7
経営者・役員	13	30.8	15.4	23.1	38.5	23.1	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7
個人事業主	157	49.0	16.6	14.0	17.8	10.2	5.1	7.0	8.9	5.1	9.6
公務員	19	10.5	21.1	10.5	21.1	10.5	26.3	10.5	5.3	15.8	10.5
専門職	15	20.0	6.7	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0	20.0
農林漁業	5	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
派遣・契約社員	59	52.5	25.4	23.7	15.3	10.2	5.1	8.5	1.7	5.1	8.5
パート・アルバイト・フリーター	83	45.8	25.3	18.1	21.7	6.0	7.2	7.2	7.2	3.6	4.8
専業主婦/主夫	30	46.7	13.3	13.3	23.3	10.0	0.0	10.0	6.7	6.7	0.0
無職	18	50.0	11.1	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	11.1	0.0	11.1
学生	15	46.7	20.0	20.0	20.0	26.7	20.0	0.0	0.0	6.7	13.3

※サンプル数30未満は参考値。また、0は非表示。 ※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む(但し、補填用サンプルは3年以内借入経験者全体には含まない)。

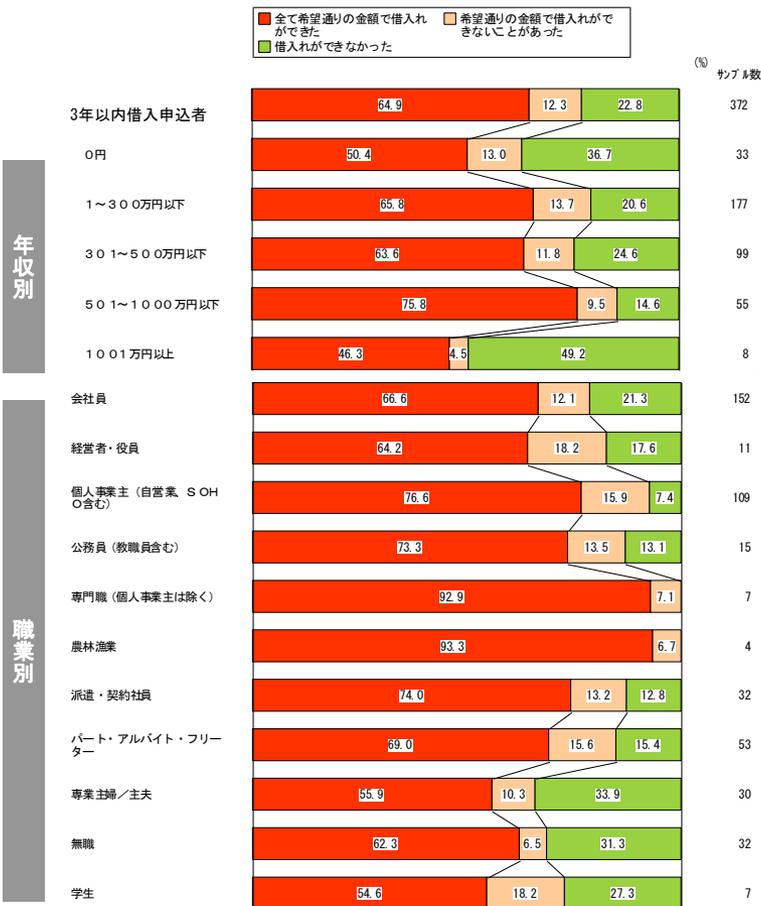
■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント高い
■ 3年以内借入経験者全体の比率より5ポイント低い

II. 調査結果のまとめ

最近3年以内の借入状況：希望通りの借入れ有無

- 今回の調査対象者のうち、最近3年以内に「貸金業で借入申込みした」のは8.6%、そのうち、「全て希望どおりの金額で借入れができた」のは64.9%となっている。
- 希望通りの借入れができなかった時の対応については、「支出を控えた・諦めた」が最も多く50.6%、次いで「親類・友人等からの援助を受けた・借入れを行なった」が20.9%。「アルバイトなどにより収入の増加に努めた」が19.6%と借入れ以外の方法による対応も多い。一方、「クレジットカードのショッピング枠の現金化を利用した」とする回答が1.4%、「無登録業者(ヤミ金融)からの借入れを行った」とする回答が0.5%となっている。

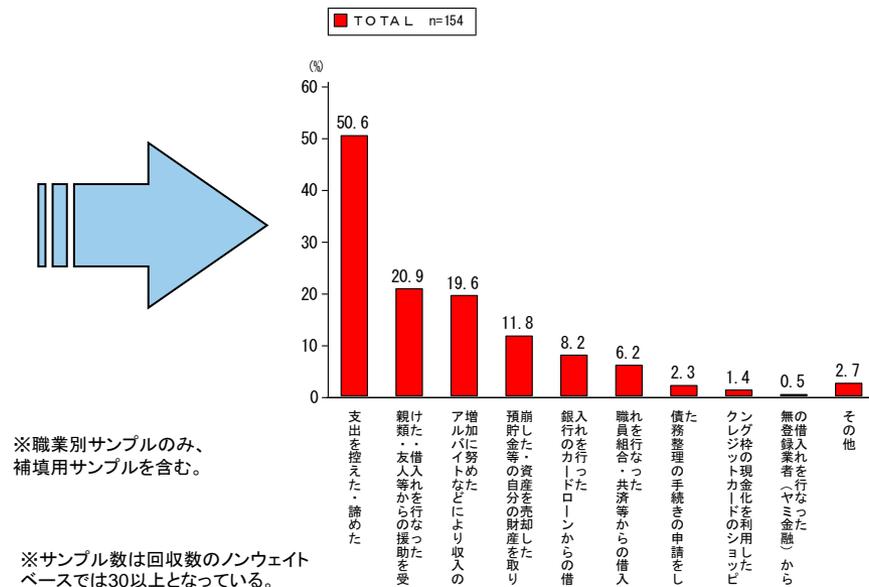
【図表4】最近3年以内の借入れ申込みと希望金額借入有無：
(ベース：3年以内貸金業からの借入申込者) ※ウェイトバックあり



【図表3】最近3年以内の借入れ申込み有無：
(ベース：全数) ※ウェイトバックあり



【図表5】最近3年以内の借入れ不可・希望金額借入れ不可時の対応
(ベース：3年以内貸金借入申込者で希望通りの借入れ不可の経験あり) ※ウェイトバックあり



II. 調査結果のまとめ

『総量規制』抵触者の割合／現在の借入残高

- 3年以内借入経験者でかつ現在借入残高がある者のうち、総量規制抵触者（借入残高が年収の1/3を超える者※）は18.0%となっている。
・ 年収別では、年収が低いほど、抵触者比率も高くなる。
- 「現在消費者金融に借入残高あり」にしぼると、総量規制抵触者は25.0%。
- 「3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり」の現在の借入残高平均は38.7万円、残高区分では「1～10万円以下」が41.7%で最多、次に「11～30万円以下」が24.1%と、30万円以下で6割強を占める。
- 総量規制抵触者（3年以内借入経験者かつ現在借入残高あり）の借入残高平均は88.4万円、総量規制非抵触者は27.9万円。

※制度上の総量規制の適用除外や例外については、この調査では考慮していない（以下同じ）。

【図表6】総量規制抵触者比率

（ベース：3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり）



【図表8】総量規制抵触者比率

（ベース：3年以内借入経験者、かつ現在消費者金融に借入残高あり）



【図表7】総量規制抵触者比率 年収／職業別

（ベース：3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり）

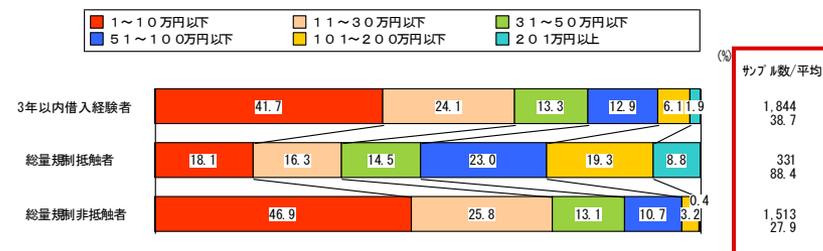
	サンプル数	総量規制抵触者比率 (%)
年収別	0円	100.0
	1～300万円以下	18.1
	301～500万円以下	7.5
	501～1,000万円以下	3.1
	1,001万円以上	0.0
職業別	会社員	9.7
	経営者・役員	9.4
	個人事業主	43.2
	公務員（教職員含む）	8.7
	専門職	8.5
	農林漁業	3.7
	派遣・契約社員	9.7
	パート・アルバイト・フリーター	19.0
	専業主婦／主夫	53.7
	無職	14.5
	学生	23.7

※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。

※サンプル数30未満は参考値。

【図表9】現在の借入残高

（ベース：3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり）

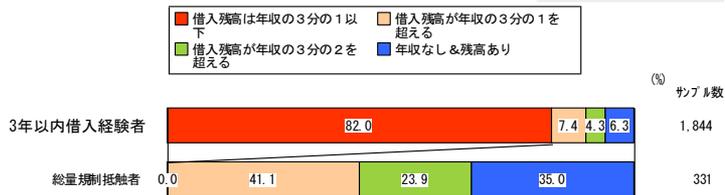


II. 調査結果のまとめ

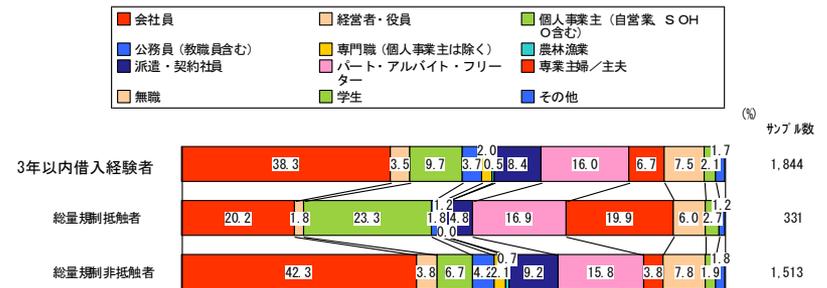
『総量規制』抵触者の特徴

- 総量規制抵触者のうち、「借入残高が年収の3分の1を超える」者は41.1%、「年収なし、かつ残高あり」は35.0%を占める。
- 総量規制抵触者の職業構成を見ると、全体に比べ、『個人事業主』と『専業主婦／主夫』の割合が高い。
- 消費者金融に借入残高のある総量規制抵触者の借入目的は、非抵触者に比べ、「生活費不足の補填」「クレジットカードの利用代金支払い資金の補填」「他の貸金業者への返済不足の補填」が高い。

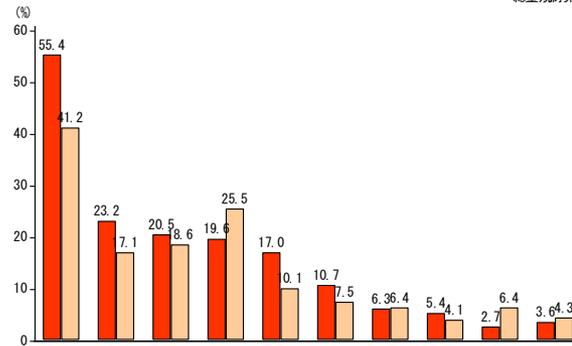
【図表10】 総量規制抵触者 借入残高と年収の比率区分
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)



【図表11】 総量規制抵触者 職業
(ベース:3年以内借入経験者、かつ現在借入残高あり)



【図表12】 総量規制抵触者 消費者金融借入目的
(ベース:消費者金融から3年以内借入経験あり、かつ現在借入残高あり)



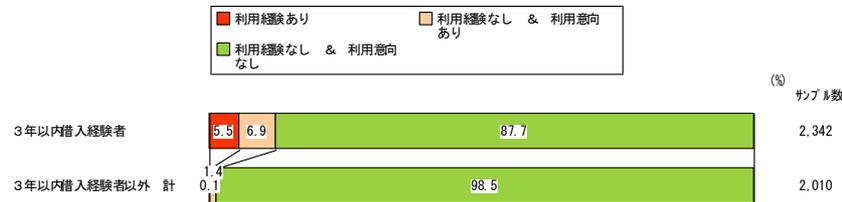
※総量規制抵触者で降順ソート	n	1	3	8	7	4	9	5	2	6	10
		生活費不足の補填(光熱水費を含む) 不	クレジットカードの不足を補う代金	遊ぶためのお金(娯楽費等)	欲しいものがあつたが手元の他の貸金業者への返済資金	他の貸金業者への返済資金	ギャンブルの元手が足りなかつたため	医療費の支払いのため	住宅ローンの支払い資金の不足を補うため	冠婚葬祭費の支払いのため	その他
0 3年以内借入経験者	457	44.6	18.6	19.0	24.1	11.8	8.3	6.3	4.4	5.5	4.2
1 総量規制抵触者	112	55.4	23.2	20.5	19.6	17.0	10.7	6.3	5.4	2.7	3.6
2 総量規制非抵触者	345	41.2	17.1	18.6	25.5	10.1	7.5	6.4	4.1	6.4	4.3

II. 調査結果のまとめ

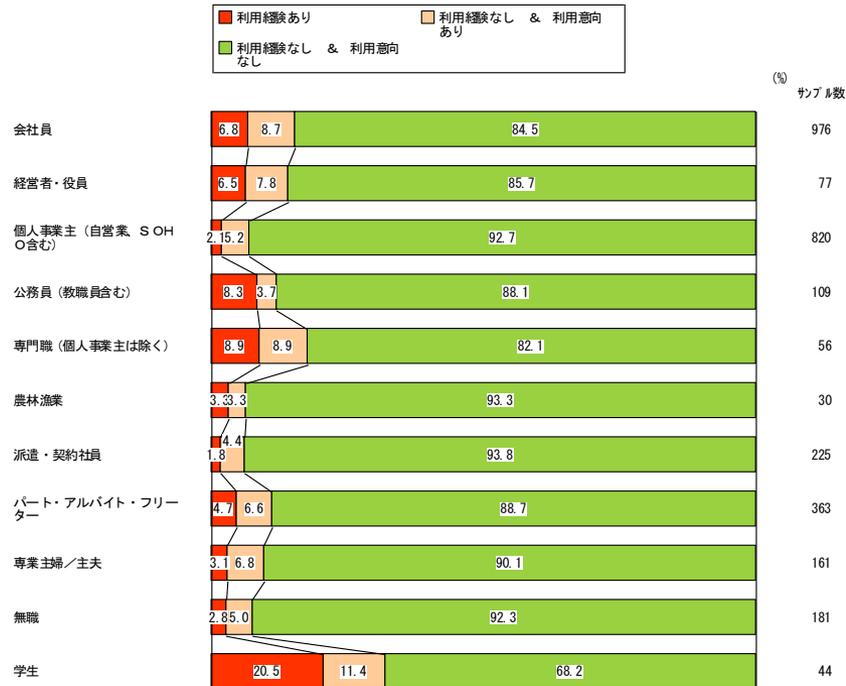
『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

- 3年以内借入経験者のうち、『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は5.5%、「利用意向があったが利用経験なし」は6.9%となっている。
- 3年以内借入経験者で現在借入残高のある総量規制抵触者のうち、『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は7.9%、「利用意向があったが利用経験なし」は8.2%となっている。

【図表13】 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験



【図表14】 同上: 職業別 (ベース:3年以内借入経験者)



【図表15】 無登録業者(ヤミ金融)の利用経験: 総量規制抵触有無別 (ベース:3年以内借入経験あり、かつ現在借入残高あり)



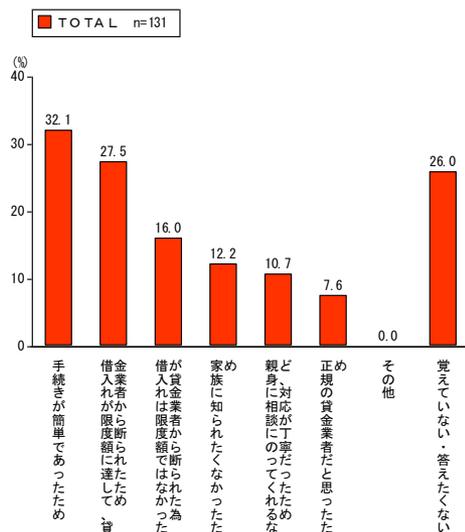
※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。

II. 調査結果のまとめ

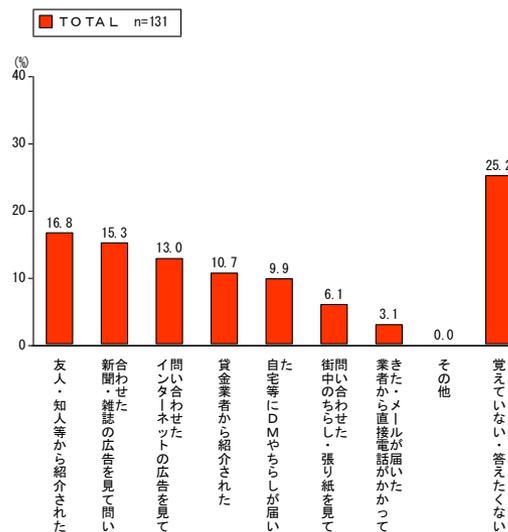
『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の利用理由について、「手続きが簡単であったため」が最も高く32.1%、次いで「借入れが限度額に達した」が27.5%で続く。
- 接触きっかけは、「友人・知人等からの紹介」が16.8%で最も高く、「新聞・雑誌の広告を見て」が15.3%で続く(「覚えていない・答えたくない」以外)。
- 利用した感想は、「金利の負担が重かった」が最も高く26.0%(「覚えていない・答えたくない」以外)。

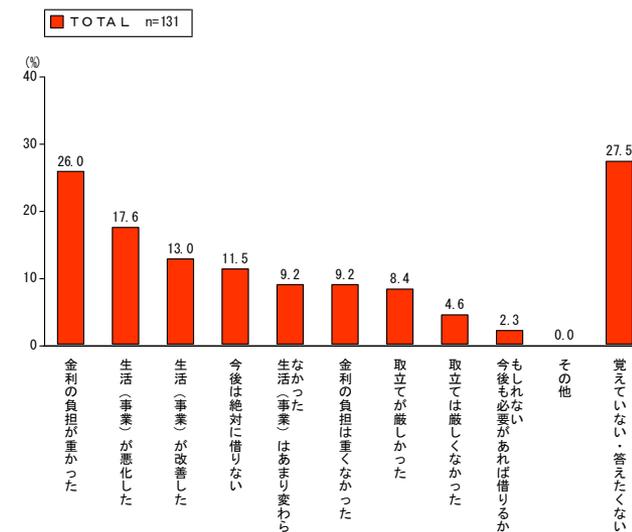
【図表16】 無登録業者(ヤミ金融)の利用理由
(ベース:無登録業者借入経験者)



【図表17】 無登録業者(ヤミ金融)との接触契機
(ベース:無登録業者借入経験者)



【図表18】 無登録業者(ヤミ金融)から借入れを行った感想
(ベース:無登録業者借入経験者)

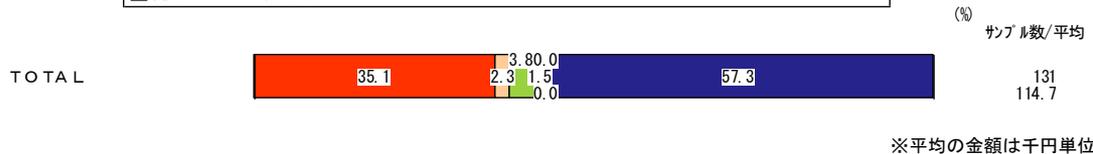
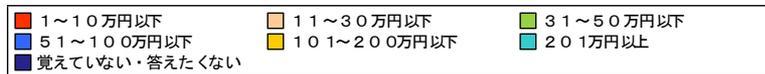


II. 調査結果のまとめ

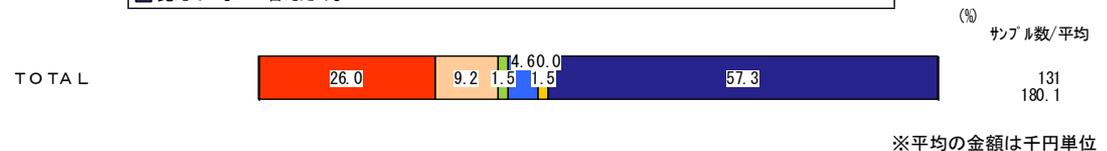
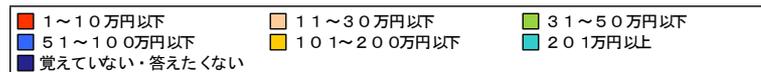
『無登録業者(ヤミ金融)』の利用経験

- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の借入元本は、「1～10万円以下」が35.1%。*ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」
- 『無登録業者(ヤミ金融)』利用経験者の返済総額は、「1～10万円以下」が26.0%。*ただし、半数以上は「覚えていない・答えたくない」

【図表19】 借入元本
(ベース:無登録業者借入経験者)



【図表20】 返済総額
(ベース:無登録業者借入経験者)



II. 調査結果のまとめ

『セーフティネット』の認知

- 『セーフティネット』の認知については、全体で「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が48.8%、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」が42.4%で他の窓口や制度よりも高くなっている。
- 「総量規制抵触者」の認知も全体と同様の傾向が見られ、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」が60.7%で最も高く、「法テラス、国民生活センターの相談窓口」は58.3%で、他の『セーフティネット』より認知が高い。

【図表21】セーフティネット認知／詳細認知
※「TOTAL」のみウェイトバックあり

「認知計」＝「詳細な内容まで知っていた」「聞いたことはあるが詳細な内容までは知らなかった」

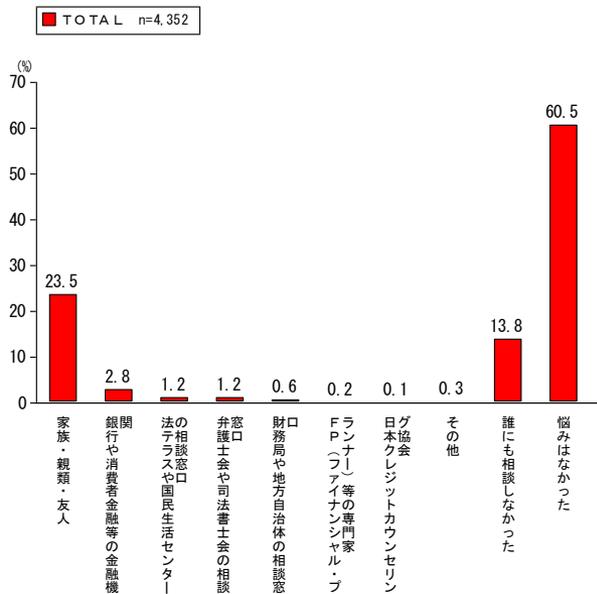
	サンプル数	財務局や地方自治体設置の多重債務専門の相談窓口		法テラス、国民生活センターの相談窓口		弁護士会、司法書士会の相談窓口		生活協同組合や労働金庫・信用組合による貸付制度		都道府県の社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付制度	
		認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知	認知計	詳細認知
TOTAL	4352	25.3	3.4	42.4	6.1	48.8	6.0	22.1	3.1	20.2	3.9
3年以内借入経験者	2342	42.4	10.4	56.9	12.8	61.1	13.5	34.5	8.2	32.7	8.7
借入未経験者	1802	23.3	2.8	39.6	4.8	46.4	5.0	20.6	2.5	18.4	3.2
3年以内借入経験者のうち、総量規制抵触者 ※残高あり	331	40.2	11.8	58.3	13.9	60.7	13.9	34.1	7.9	34.7	9.4
3年以内借入経験者のうち、総量規制非抵触者 ※残高あり	1513	44.9	11.3	57.4	13.7	63.3	14.3	35.4	8.7	34.4	9.4

II. 調査結果のまとめ

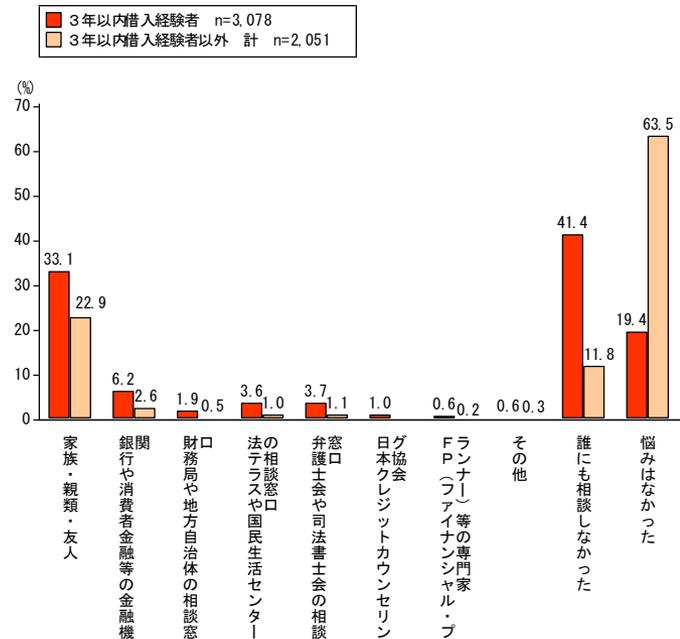
家計や借入れの悩み相談先

- 全体では、家計や借入れの悩みの相談先として「家族・親類・友人」が23.5%で最も高い。ただし、「悩みはなかった」が60.5%。
- 3年以内借入経験者と経験者以外で比べると、経験者では「誰にも相談しなかった」が41.1%で最多、借入経験者以外では「悩みはなかった」が63.5%で最多である。

【図表22】家計や借入れの悩み相談先
(ベース: 全数) ※ウェイトバックあり



【図表23】家計や借入れの悩み相談先



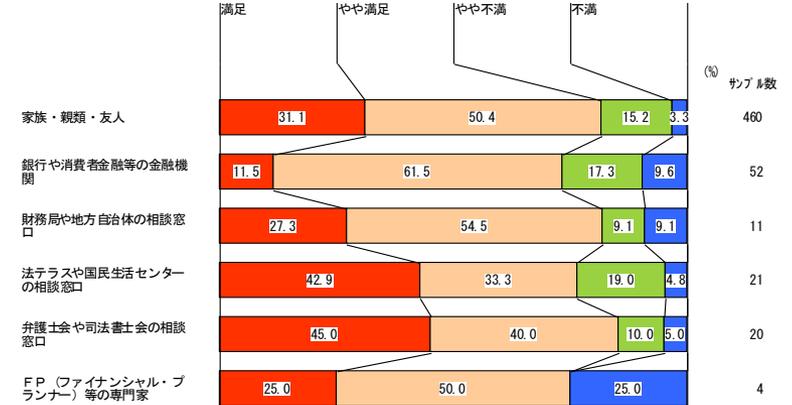
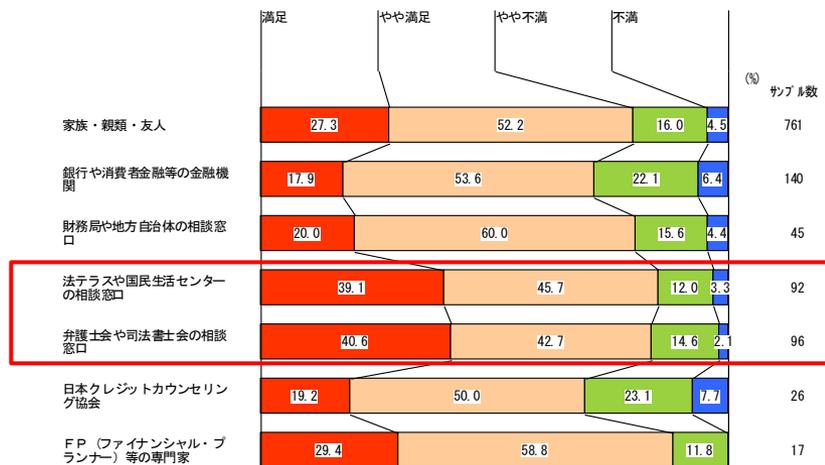
II. 調査結果のまとめ

家計や借入れの悩み相談先満足度

■ 3年以内借入経験者のうち家計や借入れの悩みを相談した先への満足度について、「弁護士会、司法書士会の相談窓口」と「法テラス、国民生活センターの相談窓口」の満足度合が、他の相談先に比べて高い。

【図表24】家計や借入れの悩み相談先の満足度
(ベース:3年以内借入経験者で各相談者)

【図表25】家計や借入れの悩み相談先の満足度
(ベース:3年以内借入経験者以外で各相談者)



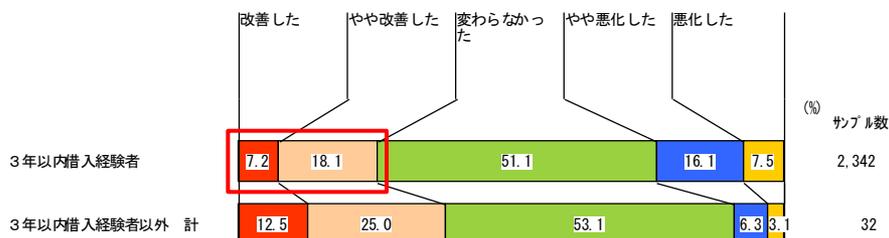
※サンプル数30未満は参考値。

II. 調査結果のまとめ

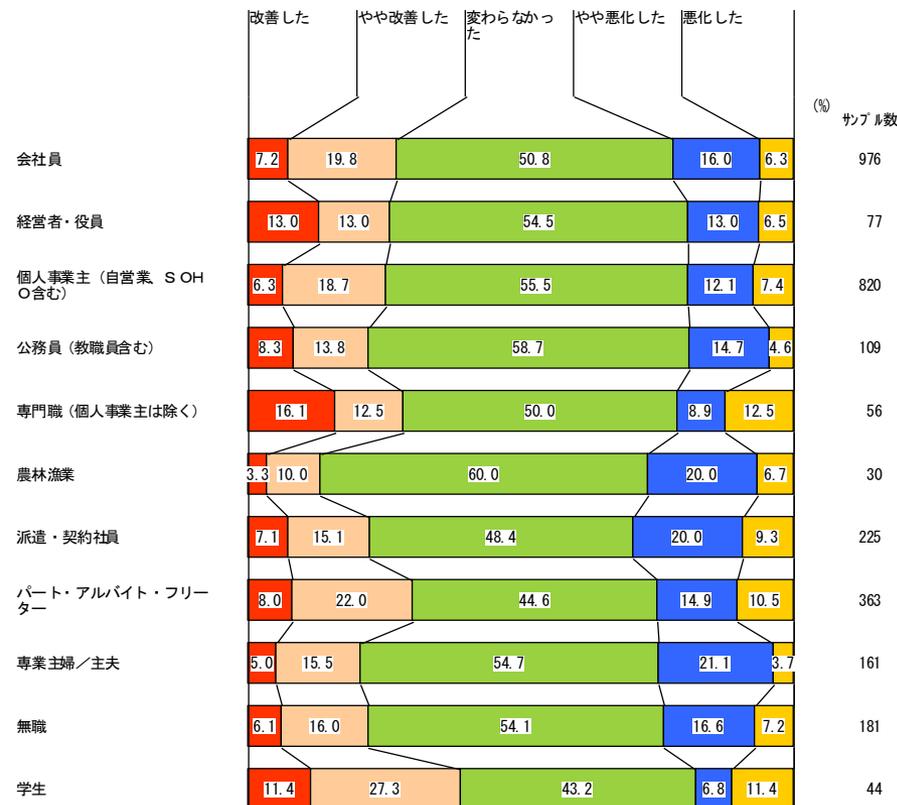
最近3年以内各種ローン利用後の家計変化

- 最近3年以内各種ローン利用後の家計変化では、3年以内借入経験者において、「改善した」「やや改善した」を合わせると25.3%。
- 3年以内借入経験者において職業別で見ると、『学生』『パート・アルバイト・フリーター』『専門職』が他に比べて改善した割合が高い。

【図表26】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化



【図表27】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 職業別 (ベース:3年以内借入経験者)



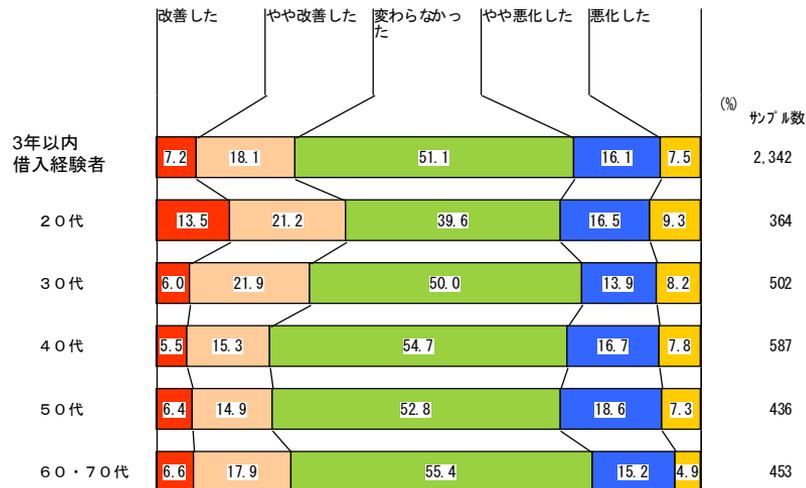
※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。

II. 調査結果のまとめ

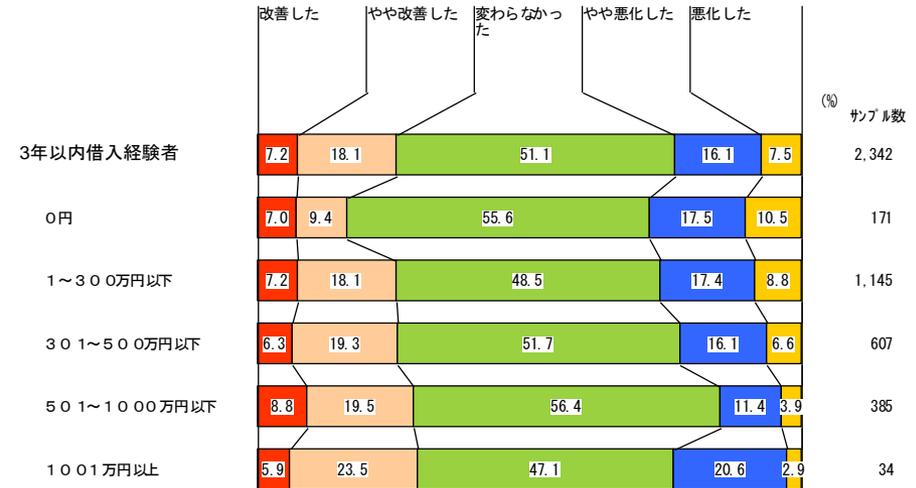
各種ローン利用後の家計変化：年代別／年収別

- 各種ローン利用後の家計変化を3年以内借入経験者の年代別で見ると、『20代』で「改善した」が他の年代に比べて高い。
- 年収別では、「改善した」「やや改善した」を合わせてみると、『年収0円』では他よりも低い。

【図表28】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 年代別
(ベース:3年以内借入経験者)



【図表29】最近3年以内各種ローン利用後の家計変化 年収別
(ベース:3年以内借入経験者)

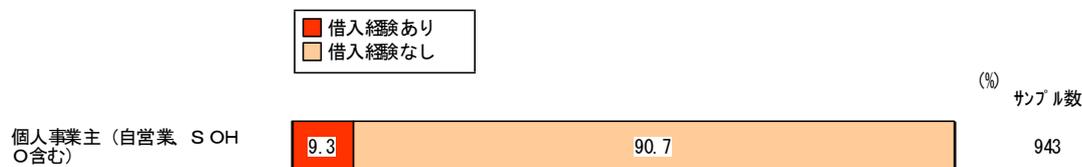


Ⅲ. 個人事業主向け調査結果のまとめ

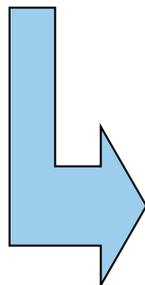
Ⅲ. 調査結果のまとめ 事業者のプロフィール

- 個人事業主で、貸金業からの事業資金の借入経験(利用意向含む)のある者は9.3%。
- うち、職種を見ると、「小売業」が23.9%と最も高く、次いで「宿泊業・飲食サービス業」が14.8%で続く。

【図表30】事業資金の借入経験がある個人事業主のうち、貸金業から事業資金の借入経験者・利用意向者
(ベース:個人事業主)



【図表31】業種
(ベース:個人事業主のうち、事業資金借入経験者・利用意向者)



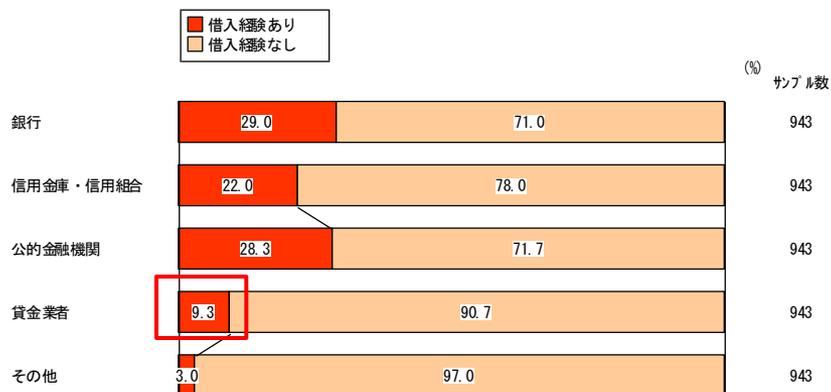
※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。

Ⅲ. 調査結果のまとめ

事業者の事業資金の借入れ等の状況

- 個人事業主で、資金の借入先を見ると、「公的金融機関」が最も高く、借入経験者(利用意向含む)は28.3%。
- 個人事業主全体での『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は1.9%、「利用意向があったが利用経験なし」は4.9%となっている。
- 個人事業主のうち、事業資金の借入経験(利用意向含む)のある者で、『無登録業者(ヤミ金融)』の「利用経験あり」は12.5%、「利用意向があったが利用経験なし」は11.4%となっている。

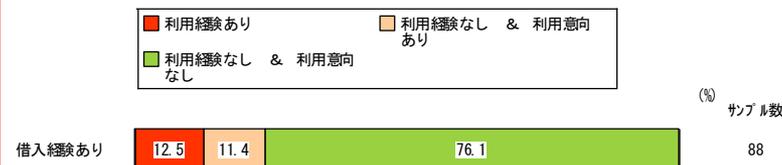
【図表32】事業資金の借入経験
(ベース:個人事業主)



【図表33】無登録業者(ヤミ金融)の利用経験
(ベース:個人事業主)



【図表34】無登録業者(ヤミ金融)の利用経験
(ベース:個人事業主のうち貸金業からの事業資金借入経験・利用意向あり)



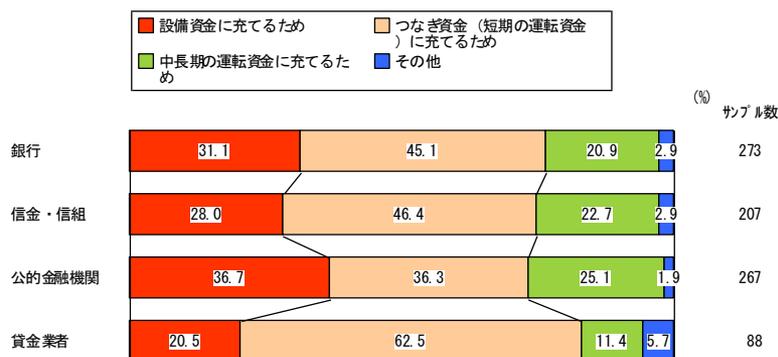
※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。

Ⅲ. 調査結果のまとめ

事業者の事業資金の借入れ等の状況

■ 事業資金の借入目的を借入先別で見ると、『資金業者』では「つなぎ資金」が62.5%と最も高い。

【図表35】事業資金の借入目的
(ベース:個人事業主のうち、事業資金借入経験・利用意向あり)



※職業別サンプルのみ、補填用サンプルを含む。